

親睦囲碁大会参戦記！ 2026

常任理事 照屋 勉



2026年2月11日（水：建国記念の日）、沖縄県医師会館（2F・第4会議室）にて「令和7年度・沖縄県医師会主催『親睦囲碁大会』！」が開催されました。『対戦表』のとおり自称2段から名誉6段まで総勢11名の囲碁仲間が集結し、プライドをかけて熱戦が繰り広げられました。今回、常勝の「医師会本因坊」：砂川恵徹先生（8段）が参加回避（ほぼ毎回優勝なのでご遠慮されたいらしい???）…。そこで『鬼の居ぬ間に洗濯！』とばかりに仲宗根和則先生（6段）が5勝0敗の完全優勝（勝率）…。最近、メキメキ腕を上げて4段に昇格した仲本政雄先生が5勝1敗の準優勝（勝数）…。3位は最多試合数（8局：5勝3敗）の友寄景三郎さん（裁判所の調査員をされていたとのこと）…。3人の先輩方、本当におめでとうございます。

さて、ここで、『囲碁から生まれた言葉！』をご参考までに列挙羅列してみましよう！（10年前の2016年5月号に投稿した「参戦記」の一部をデフォルメして再掲させていただきます！）

①「布石」：石（碁石）を布（敷く・配置する）いてゆき勢力圏を確保すること！～布石を打つ！将来のために準備をすること！②「定石」：ある局面で最善とされる一定の打ち方！～因みに、囲碁は「定石」、将棋は「定跡」。③「結局」：一局打ち終わること！～「結」=物事の締めくくり！～いろいろな経過を経て落ち着いた最後の結末！④「ダメ（駄目）」：無駄な目！どちらの地にもならない打つ価値のない場所！～良くない状態！効果がないこと！ダメダメ、絶対ダメ！⑤「一目置く！」：囲碁のハンディーとして弱い方が先に石を一目置いて対局開始すること！～相手の実力を認め敬意を払うこと！⑥「岡（傍）目八目」：傍で見ている人は八目先が読めるという話！～当事者より第三者の方が事の本質を理解している！本当かな～？本当でしょう！⑦「局面」：囲碁の盤面でどちらが勝っているかなどの形勢判断すること！～意外な局面！物事の成り行き、情勢！⑧「先手を打つ！」：相手より先に石を打つこと！～相手より先に物事

を行うこと！主導権を握り有利に進めること！
 (vs「後手に回る！」) ⑨「捨て石」：効果を得るためにわざと相手に取らせる石のこと！～大きな目的のためにその場では無用に見える行為・無用な人！「捨て石」にはなりたくないな～！
 ⑩「“待った”をかける！」：相手が指した手を待ってほしい時に発する掛け声！～進行を一時的に止めること！（相撲の立ち合い“待った！”も同様！）
 ⑪「目論見（もくろみ）」：囲碁の対局中に目（地）を計算すること！～転じて、物事を企て、計画すること！～悪いイメージではありません！「目論見書」は重要な説明書です！
 ⑫「手談」：「手で語る！」～言葉を交わすことなくただ手を動かすこと！～つまり、『囲碁』の異名なのです！

さてさて、毎年2月11日の『建国記念の日』は沖縄県医師会主催の「親睦囲碁大会」が予定されております。「隠れ囲碁ファン」の先生方のご参加を心よりお待ちしております！今後とも宜しく願い申し上げます。

【P.S.】最後に、有名棋士の名言をいくつかご紹介いたします！

①「碁は自由である！」、「磊磊！」、「屈屈伸！」、「強烈な努力！」、「負けて強くなる！」 by 藤原秀行氏、②「中の精神！」、「碁盤は宇宙！」、「碁は調和の芸術である！」、「形より急所！」 by 呉清源氏、③「一局一局が勝負！」、「一手一手を大切に！」、「負けて泣いているだけでは強くない！」 by 井山裕太氏…！

令和7年度沖縄県医師会親睦囲碁大会対戦表

【段位・五十音順】

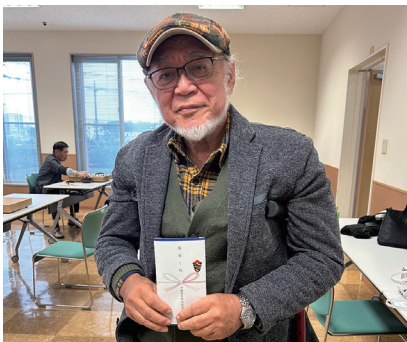
No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
氏名	村田 謙二	渡口 稔	仲宗根和則	友寄景三郎	宮里 達也	仲本 政雄	比嘉 耕一	照屋 勉	新崎 盛雄	大山 朝賢	饒波 保	0	0	0	0
段級	6段	6段	6段	6段	4段	4段	3段	3段	2段	2段	2段	0段	0段	0段	0段
成績	1勝4敗	5勝2敗	5勝0敗	5勝3敗	3勝4敗	5勝1敗	2勝3敗	2勝4敗	2勝2敗	0勝5敗	2勝4敗	0勝0敗	0勝0敗	0勝0敗	0勝0敗
勝率	0.200	0.714	1.000	0.625	0.429	0.833	0.400	0.333	0.500	0.000	0.333				
試合数	5	7	5	8	7	6	5	6	4	5	6	0	0	0	0
結果			優勝【勝率】	三位【最多試合】		準優勝【勝数】									



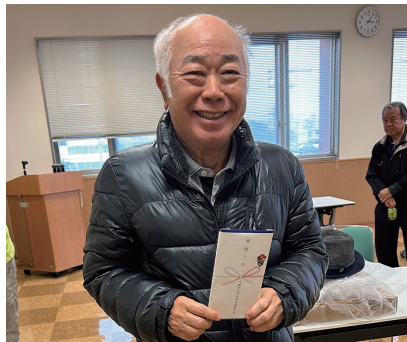
全体写真



優勝（仲宗根先生）



仲宗根先生



仲本先生



友寄さん